

## ● 東京混声合唱団の紹介

この合唱団は、昭和31年（1956年）その年の東京芸術大学声楽科卒業生によってつくり、それから今日まで日本の代表的な合唱団として活躍しています。

文化庁芸術祭大賞・優秀賞など国内の主な音楽賞を数多く受賞したほか、海外でも大変評価が高く、昭和54年（1979年）には、国際児童年を記念してアセアン5ヶ国で公演し、また、昭和62年（1987年）には、文化庁派遣「日米舞台芸術交流」の洋楽部門の日本代表として、アメリカ8都市で公演を行いました。さらに平成9年（1997年）には、ユネスコ世界合唱連合創立15周年記念フェスティバルに招待され、スウェーデン、ベルギーにおいて演奏、その後も平成12年（2000年）のエストニア、フィンランド公演、平成14年（2002年）のカナダ公演、平成18年（2006年）には、創立50周年を記念し、ラトヴィア、エストニア公演を開催し、多くの国の人々にも感銘を与えました。平成19年（2007年）、第38回サントリー音楽賞、第25回中島健蔵音楽賞を受賞し、平成22年（2010年）に再びフィンランド公演、平成29年（2017年）にはロシア公演、2019年2～3月にはフランスとモナコで公演を行い、絶賛を博しました。



コン・コン・コンサート2023（6月4日 東京芸術劇場）

## 国際音楽の日

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



# 令和5年度 学校巡回公演事業

## 東京混声合唱団

〈響け！心のハーモニー ～子供たちに届けたい日本の歌、世界の歌～〉  
小学校プログラム



## 令和5年度 学校巡回公演事業

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# 令和5年度 学校巡回公演事業

## 響け!心のハーモニー ～子供たちに届けたい日本の歌、世界の歌～

指揮：キハラ良尚・平川範幸・水戸博之 ピアノ：魚谷絵奈・小笠寺美樹・若月直子

合唱：東京混声合唱団

### プログラム

#### 校歌演奏

#### 第1部 日本のうた

待ちぼうけ (作曲：山田耕筰)

せんせい (作曲：三善晃)

里の秋 (作曲：海沼實)

#### 第2部 世界の合唱曲より

夏は来たりぬ (14世紀のカノン)

ハレルヤ (作曲：G.F. ヘンデル)

フニクリ・フニクラ (作曲：L. デンツァ)

#### 第3部 日本の民謡を素材にした合唱曲～シアターピース～

追分節考 (作曲：柴田南雄)

#### 第4部 みんなで歌おう

①歌う前にみんなでウォームアップ

②校歌全員合唱

③ A, B, C より選択

A：ラララのラー (作曲：鶴見幸代)

B：ミュージカル・メドレー

サウンド・オブ・ミュージック (作曲：R. ロジャース)

C：学校自由選択曲

#### 第5部 みんなのコーラス

となりのトトロ (作曲：久石 譲)

幸せなら手をたたこう (スペイン民謡)

ジッパ・ディー・ドゥー・ダー (作曲：A. リューベル)

翼をください (作曲：村井邦彦)

#### 鑑賞の手引き

今日は人間の声で描く芸術「合唱」の美しさ、楽しさを体験しましょう。

ひとりで歌う独唱と違い、ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれのパートの人たちの声がとけ合って生まれるハーモニーの美しさ、また、自分たちで美しいハーモニーを響かせることができた時の喜びや楽しさは「合唱」でしか味わえないものです。みんなで歌うコーナーでは、みんなの声と合唱団の人たちの声のとけ合ってひろい体育館いっぱい、美しいハーモニーが響きわたります。



#### 演目解説

##### ○待ちぼうけ (山田耕筰)

詩人・北原白秋と作曲家・山田耕筰の名コンビによる歌で、中国に伝わるお話を基に作られました。合唱がお話を進め、ピアノが情景を見事に描いています。

○せんせい (三善晃) ～大阪の小学一年生が書いた詩に作曲家が触発されて生まれた曲。児童のまなざしに大人はドキッとさせられます。

##### ○里の秋 (海沼實)

終戦の年、1945年にラジオで発表されて以来、長年小学校教科書にも載せられ愛されてきた童謡です。1番ではふるさとの秋を母と過ごす様子。2番では戦争に出かけた父の無事を願う様子。3番では父の帰りを願う母子の様子が描かれています。2007年には「日本の歌百選」にも選ばれました。

○夏は来たりぬ (14世紀のカノン) ～700年程前から生活の楽しみのために歌い続けられてきた輪唱曲です。女声と男声が別々の輪唱を同時に歌います。

○ハレルヤ (ヘンデル) ～「ハレルヤ」は「神様を讃えよう」という意味で、キリストの生涯を描いたオラトリオ「メサイア救世主」の中で、第二部の最後を飾る荘厳な合唱曲です。

○フニクリ・フニクラ (デンツァ) ～イタリアの登山鉄道 (フニコラーレ) を題材に、男性から意中の女性への熱い想いを明るく歌い上げます。

○追分節考 (柴田南雄) は、東京混声合唱団の創設指揮者田中信昭から「日本民謡の素材だけで合唱曲を」という依頼により、1973年に書かれ、初演以来、国内外で数多く演奏されている作品です。長野県と群馬県の境の信濃地方に伝わる信濃追分を中心に、会場全体を包み込むように歌手が動きながら歌います。そのため、シアター (劇場) ピースと呼ばれます。

○となりのトトロ (久石譲) ～アニメ映画「となりのトトロ」でおなじみの曲が東京混声合唱団のためにアレンジされたものです。

○幸せなら手をたたこう (スペイン民謡) ～軽快なリズムに合わせてみんなで楽しめる歌です。みんなで一緒に手拍子、足拍子、元気に身体を動かしましょう。

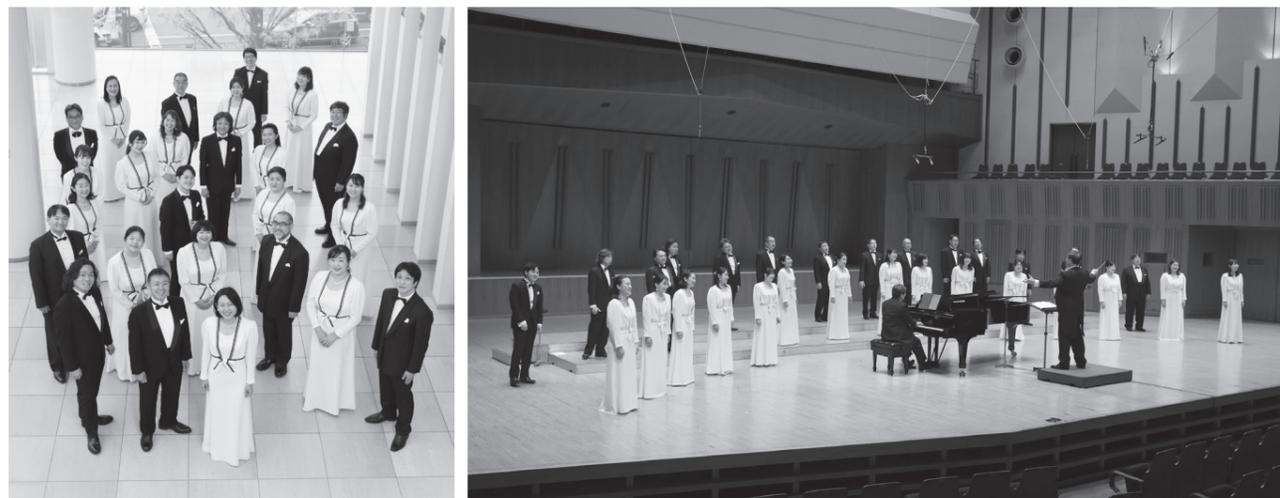
○ジッパ・ディー・ドゥー・ダー (リューベル) ～1946年に公開されたディズニー映画『南部の唄』の挿入歌。星に願いを (ピノキオ) と共に、アメリカ映画音楽ベスト100に選ばれています。ディズニー映画を代表する名曲の一つです。陽気で踊りだしたくなるような曲です。

○翼をください (村井邦彦) ～フォークグループ赤い鳥が1971年に発表、以後音楽教科書にも掲載され、年代を問わず、幅広い世代に愛され歌い継がれてきた名曲です。

## ●東京混声合唱団の紹介

この合唱団は、昭和31年（1956年）その年の東京芸術大学声楽科卒業生によってつくり、それから今日まで日本の代表的な合唱団として活躍しています。

文化庁芸術祭大賞・優秀賞など国内の主な音楽賞を数多く受賞したほか、海外でも大変評価が高く、昭和54年（1979年）には、国際児童年を記念してアセアン5ヶ国で公演し、また、昭和62年（1987年）には、文化庁派遣「日米舞台芸術交流」の洋楽部門の日本代表として、アメリカ8都市で公演を行いました。さらに平成9年（1997年）には、ユネスコ世界合唱連合創立15周年記念フェスティバルに招待され、スウェーデン、ベルギーにおいて演奏、その後も平成12年（2000年）のエストニア、フィンランド公演、平成14年（2002年）のカナダ公演、平成18年（2006年）には、創立50周年を記念し、ラトヴィア、エストニア公演を開催し、多くの国の人々にも感銘を与えました。平成19年（2007年）、第38回サントリー音楽賞、第25回中島健蔵音楽賞を受賞し、平成22年（2010年）に再びフィンランド公演、平成29年（2017年）にはロシア公演、2019年2～3月にはフランスとモナコで公演を行い、絶賛を博しました。



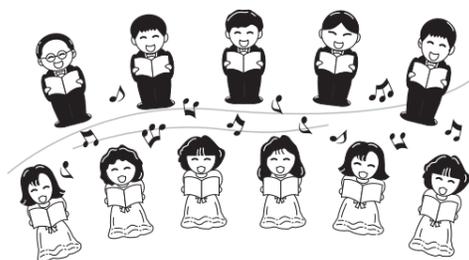
コン・コン・コンサート2023（6月4日 東京芸術劇場）

## 国際音楽の日

知ってますか？ ～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。



# 令和5年度 学校巡回公演事業 東京混声合唱団

〈響け！心のハーモニー ～子供たちに届けたい日本の歌、世界の歌～〉  
中学校プログラム



## 令和5年度 学校巡回公演事業

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# 令和5年度 学校巡回公演事業

## 〈響け!心のハーモニー ～子供たちに届けたい日本の歌、世界の歌～〉

指揮：キハラ良尚・平川範幸・水戸博之 ピアノ：魚谷絵奈・小笠寺美樹・若月直子  
合唱：東京混声合唱団

### プログラム

#### ■校歌演奏

#### ■第1部

##### 世界の合唱曲より

「カルミナ・ブラーナ」より～おお運命の女神よ（作曲：C.オルフ）  
トリッチ・トラッチ・ポルカ（作曲：J.シュトラウス2世）  
コンダリラ（滝の精）（作曲：S.リーク）

#### ■第2部

##### 日本のうた

群青（作曲：小田美樹 編曲：信長貴富）  
「親子で歌い継ごう日本の歌百選」より～  
さくらさくら（日本古謡・編曲：名田綾子）  
夕焼小焼（作曲：草川信・編曲：三善晃）

#### ■第3部

##### 日本の民謡を素材にした合唱曲～シアターピース～

追分節考（作曲：柴田南雄）

#### ■第4部

##### みんなでコーラス

- ①校歌全員合唱
- ②A, B, Cより選択
  - A：ラララのラー（作曲：鶴見幸代）
  - B：ミュージカル・メドレー  
サウンド・オブ・ミュージック（作曲：R.ロジャース）
  - C：学校自由選択曲

#### ■第5部

##### 楽しいコーラス

手紙～拝啓十五の君へ（作曲：アンジェラ・アキ）  
風になりたい（作曲：宮沢和史）  
Joyful, Joyful（作曲：L.v.ベートーヴェン（映画「天使にラブ  
ソング」より）

#### ●鑑賞の手引き

今日は人間の声で描く芸術「合唱」の美しさ、楽しさを体験しましょう。

ひとりで歌う独唱と違い、ソプラノ、アルト、テノール、バスのそれぞれのパートの人たちの声のとけ合って生まれるハーモニーの美しさ、また、自分たちで美しいハーモニーを響かせることができた時の喜びや楽しさは「合唱」でしか味わえないものです。みんなで歌うコーナーでは、みんなの声と合唱団の人たちの声のとけ合ってひろい体育館いっぱいに、美しいハーモニーが響きわたります。



#### ●演目解説

##### おお運命の女神よ

##### 「カルミナ・ブラーナ」(オルフ) より

ドイツの作曲家オルフが中世に書かれた民衆の詩に付けた壮大な曲です。とくにその第1曲「おお運命の女神よ」は力強いリズムとダイナミックで壮大なメロディーが心に強く刻まれます。

##### トリッチ・トラッチ・ポルカ (ヨハン・シュトラウス2世)

「おしゃべりポルカ」とも呼ばれ、人の噂が次から次へと町中に広がっていく様子を軽快なポルカに乗せて描いています。

##### コンダリラ（滝の精）(リーク)

オーストラリアの現代作曲家リークによる作品です。まるで深い森の中に迷い込んでしまったかのような音空間が味わえる不思議な一曲です。

##### 群青

2011年3月11日に起こった東日本大震災で被災した南相馬市立小高（おだか）中学校生徒と音楽教員小田美樹による作品。音楽で表現された人々の心の絆の強さと優しさが心に染み入る曲です。

##### 「親子で歌いつごう日本の歌百選」より～

##### さくら（日本古謡・名田綾子編曲）

誰もが知っている「さくら」の旋律を、名田綾子がつけた情感豊かなピアノ伴奏に乗せて歌われます。

##### 夕焼小焼（草川信作曲・三善晃編曲）

古くから歌い継がれている夕焼小焼、三善晃の編

曲では、一番を女声、二番を男声、そして最後に混声で壮大な盛り上がりをお聴かせします。

##### 追分節考（柴田南雄）

東京混声合唱団の創設指揮者田中信昭から「日本民謡の素材だけで合唱曲を」という依頼により、1973年に書かれ、初演以来、国内外で数多く演奏されている作品です。長野県と群馬県の境の信濃地方に伝わる信濃追分を中心に、会場全体を包み込むように歌手が動きながら歌います。そのため、シアター（劇場）ピースと呼ばれます。

##### 手紙～拝啓十五の君へ（アンジェラ・アキ）

あなたは「未来の自分」に手紙を書いたことがありますか？～2008年に発表され、一躍大ヒットとなった曲です。NHK全国学校音楽コンクール課題曲にもなり、卒業ソングとしても高い人気を得ています。

##### 風になりたい（宮沢和史）

「日本のサンバを作りたい」というコンセプトから生まれた作品で、サンバのリズムに乗せた軽快な1曲。

##### Joyful Joyful (ベートーヴェン／ウォーレン)

映画「天使にラブソングを2」の中で歌われたナンバーです。ベートーヴェンの「第九」の旋律がゴスペル・ソングのスタイルに編曲されて楽しく歌われます。